

令和7年度 第2学年 音楽科 年間指導計画・評価規準

学期	月	題材(学習内容)	内容のまとめり	観点別評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	4	発声の基礎 ・「翼をください」(曲の構成) ・「校歌」「生徒会歌」 仲間とともに歌う喜びを味わい、学習への意識を高める。	A 表現(歌唱)	A歌詞の内容や曲想を生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。	A言葉と旋律(旋律のリズムやハーモニーなどを含む)がどのような関係にあるかを理解しながら、音楽表現を工夫してどのように歌うかについて思いや意図をもっている。	A言葉と旋律がどのような関係にあるかを理解して、音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。
	5	声部の重なり方の理解と表現の工夫 ・「フーガ」ト短調 ユニゾンや和声的・多声的な音の重なりによって生み出される味わいを感じ取り、各々にふさわしい表現を工夫する。	B 鑑賞	A曲にふさわしい歌声、正しい音程で音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。 A地域や時代による曲の特徴や様式の違い、音楽を支える風土や文化・歴史、言語や発声の多様性を生かして歌唱表現している。	A正しい音程で美しいハーモニーができるように工夫し、曲にふさわしい歌声でどのように歌うかについて思いや意図をもっている。	A曲のよさや特質を味わい、曲にふさわしい歌唱表現することに意欲的である。
	6	楽器(アルトリコーダー)に親しむ アーティキュレーションを意識しながら音域を広げて演奏する。 言葉を大切にした歌唱表現の工夫 ・日本の歌「夏の思い出」 曲想と曲の構成を感じ取って、歌唱表現を工夫する。	A 表現(器楽・歌唱)	A言語の抑揚、アクセント、リズム、語感による特性、濁音、鼻濁音などの美しい歌唱表現の仕方を生かして美しく歌唱表現をする技能を身に付けている。	A演奏を客観的にとらえ、全体の響きの調和に関心をもち合唱を工夫をしている。 A曲種に応じた発声や美しい言葉の表現を生かして曲にふさわしい歌唱表現を工夫している。	A曲種に応じた発声や美しい言葉の表現を生かして曲にふさわしい歌唱表現することに意欲的である。
	7	混声三部合唱への取り組み 「時の旅人」 パートの役割を知り、ハーモニーを感じながら合唱する。	A 表現(歌唱)	A曲種に応じた発声や美しい言葉の表現を生かし、歌唱表現する技能を身に付けている。	A曲にふさわしい音色や奏法を感じ取り、それらを生かして美しく豊かな表情の音で表現の工夫をしている。	A音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。
	8			A楽器の音の特性を生かして器楽表現する技能を身に付けている。	A楽器の音の特性を感じ取り、それらを生かして表現の工夫をしている。	AB各声部の役割、複雑な構造の音楽、曲の仕組みに関心を持っている。
2	9	混声三部合唱への取り組み 「君とみた海」など 美しいハーモニーを大切にし、曲にふさわしい表現を仲間と一緒に工夫して表情豊かに合唱する。	A 表現(歌唱)	A各声部の役割、声部の構造、曲の仕組みを生かして合唱する技能を身に付けている。	A音楽材の特徴や雰囲気を感じながら、まとまりのある創作表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	B地域の違い、音楽を支える風土や文化、歴史、言語や発声の多様性に関心をもっている。
	10	オーケストラについて 管弦楽の響きや特徴を感じ取り、鑑賞する能力を育てる。	B 鑑賞	A表したいイメージを音楽材や構成を関わらせて、課題や条件に沿った創作表現のための技能を身に付けている。	AB各声部の役割、複雑な構造の音楽、曲の仕組みを感じ取っている。	B音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	11	オーケストラの響き ・「交響曲第5番」 管弦楽の響きや楽曲構成の特徴を感じ取って深く鑑賞する。	B 鑑賞	AB音楽の構成や音楽を形づくっている要素について理解している。	B音楽の構成に気づき、理解して聴き、楽曲構成の豊かさや表現の多様さを聴き取っている。	
	12	楽器の演奏 楽器の音色と奏法との関わりを理解して、器楽表現を工夫する オペラ「アイダ」 オペラの魅力を感じ取り、積極的に親しもうとする意欲をもつ。	A 表現(器楽)	AB作曲された地域や時代による曲の特徴や様式の違い、音楽を支える風土や文化、歴史、言語や発声の多様性について理解している。 B音楽と文学、演劇、舞踊、美術などの他の芸術と、どのように結びついているのかを理解している。	B音楽と文学、演劇、舞踊、美術などどのように結びついているのかを聴き取っている。 B地域の違い、音楽を支える風土や文化、歴史、言語や発声の多様性を感じ取り理解している。	
3	1	日本の伝統芸能の親しむ ・歌舞伎「勧進帳」 三味線音楽のもつ魅力について味わう。	B 鑑賞	Bわが国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。	B演奏者の違いや意図によって曲の表情が大きく変わることを理解して聴き取っている。	
	2	創作 音の重なり方や反復、変化を理解して、創作表現を工夫する。 世界の諸民族の音楽 世界の民族音楽に親しみ多様な音楽の良さを味わう。	A 表現(創作) B 鑑賞		Bわが国や郷土の伝統音楽をはじめ、世界の諸民族の様々な音楽の特徴を理解して聴き取っている。	
	3	卒業を祝う ・「校歌」他 卒業を祝う気持ちを通して、表現する力を身に付ける。	A 表現(歌唱)			